

乳児院収容児の退院3ヶ月後の追跡研究

○谷口喜久子 千羽喜代子 吉岡 毅
(都立母子保健院) (大妻女子大学) (都立母子保健院)

-目的-

当院では収容児の保育管理の一環として、退院時の指導及び退院後の家庭指導を行なっている。そこで今回は、精神発達に至る観察に引続き、退院3ヶ月後の指導に応じた家庭退院児(里親委託を含む)を対象として①在院中の問題の継続状況 ②退院後の家庭への適応状態 ③新しく生じた問題などの実から、乳児院収容児の保育管理及び退院時の指導内容に關して、再検討を行うことにした。

-対象及び方法-

昭和40年1月から昭和43年12月末までに退院し、3ヶ月後の指導に応じた家庭退院児、男児51名、女児42名、計93名(里子16名を含む)、退院時年令2ヶ月～2歳7ヶ月に対して、親子一語に面接指導をし、その結果を整理した。面接は、それぞれの専門的立場から、医師、心理指導員、子どもの直接の保育担当者にあたっている。

-結果-

A)入院中の問題の継続状況について。

①1才未満児を除いても、suckingの頻度が高いが、この内、帰宅後3ヶ月以内に28例45%が解消している。残りの34例55%は帰宅3カ月後においても今なお継続している。

Suckingの解消率は、年令が高くなるにつれて良好となっている。

2)指から物へとsuckingが移行しているもの5%。又一度消えているが、再びsuckingが生じているのが6%ある。

これらの症例に關しては、家庭の養育状態などの実から、目下検討中である。

3)帰宅後3ヶ月以上もsuckingが著明に行なわれている10例は、いずれも18ヶ月未満のものであるが、こゝに年令的特徴があるとはみなしてよいが、或いは何等かの養育上の問題があるのかについては、確かでない。

事例ごとの検討では、在院中のsuckingの状態が著しい事例は、帰宅後も継続している場合が多く見られる。

(表1) 入院中の問題の消長

項目	退院時継続している入院中の問題						計	退院時(退院3ヶ月)の状態				
	6M以下	6-12M	12-18M	18-24M	24M以上			解消	著明	減少	移行	再出
Sucking及び類似行動	9	22	16	5	10	62	28	10	17	3	4	
Rhythmic motor habits	1	6	6	1	2	15	15				1(1)	1(1)
大人への暴行	1	2	3		1	7	7				1(1)	1(1)
新しい物になれぬ		2	1	1	2	6	6					
人みじ強さ	1	3	2		2	8	8					
過食			1			1	1					
かみつき				1	1	2	1			1		
しつこく強さ			1			1	1					
自発的行動					1	1			1			
全般にわたる行動	1	4	5			10	9	1				
初期反応著明		3	1	1	3	8	8					
対象人数	16	29	23	8	17	93						

(表2) Suckingの解消状況(I)

解消状況		現在残っている状態	
経過	件数	状態	件数
帰宅後全消	22	著明	10
1ヶ月後	0	時々	5
2ヶ月後	3	痛く時だけ	14
3ヶ月後	1	乳首のみ	3
手袋を使う	2	痛く時だけ	1
計	28	ほつれ3時	1
		計	34

(表3) Suckingの解消状況(II)

退院時 年令	解消	解消以外の状態					計
		著明	減少	移行	再出		
6M以下	4	1	3	1		9	
6-12M	9	6	5	1	1	22	
12-18M	5	3	6	1	1	16	
18-24M	3		1		1	5	
24M以上	7		2		1	10	
計	28	10	17	3	4	62	

(表4) 帰宅後の適応状態

適応に用 いた期間	引取り先		退院時年令別						合計
	自宅	里親	6M以下	6-12M	12-18M	18-24M	24M以上		
特に支障なし	36	5	14	15	4	4	4	41	
1日～1週間	26	7	1	10	15	3	4	33	
1週間～2週間	6	2		2	2		4	8	
1ヶ月以上	6	1	1	1	2	1	2	7	
不月	3	1		1			3	4	
計	77	16	16	29	23	8	17	93	

4) Rhythmic motor habits は全例が、帰宅後全く消失している。繁多は、乳児施設から幼児施設へ措置変更を行なった場合、継続又は短期日のうちに再発し、その状態が著しくなることを報告しているが、この報告に比較すると、大きな相違点である。

5)他の問題の大部分は、帰宅後ほとんどが解消しているが、3ヶ月後も引続いて問題を有する3例のうち、1例は子ども自体の問題と考えることができる。

しかし、2例は家庭の養育状態を検討しながら指導にあたらなければならない。

B) 帰宅後の家庭への適応状態

子どもが新しい環境において、日常生活に支障をきたさない状態を「家庭へ適応した」とする。

対象児の44%が特に支障もなく、家庭の環境に入っている。そして、約90%のものが2週間以内で、家庭環境に適応している。これを年齢別にみると、1才未満児は1才以後の子どもよりも家庭適応は早い。家庭から乳児院に入院した際の初期反応が、1才未満児では入院児の1/3に、1才児以上ではほぼ全員に認められたことと比較する時、家庭と施設との受け入れ体制の相異を知る事ができる。しかし残り7名(8%)は家庭に適応するのには1ヶ月から2ヶ月以上を要しているが、これ等の者には、特に年齢的な特徴は認められないため、何故に適応の期間が長いのかについて、入院中の養育状態や家庭の養育などにわたって、目下検討中である。

C) 帰宅後の状態及び新しく生じた問題

施設退院時から帰宅後まで引き続き継続している問題および帰宅後新しく生じた問題(表5)の通りである。

1) 怖れに関するものが57件を占め、最も多い。物(主として乗物)・人(人みしりを含み、家族になじまない、白衣を着た人がこわい等)・場所(トイレ、風呂、戸外でこわがる等)に怖れを示しているものが多いが、年齢的な特徴は少ない。これは乳児院における経験の狭さ、限られた生活環境などによるところが大きいと考えられる。又父親・母親・家族などに怖れを示し、安定するまでに期間を要する例もあるところから、家庭引取りが決った後の面会のあり方などについて検討しなればならない。

「母親から離れない」17件に関しては、その程度、状態および経過によって指導を必要とする場合もある。

2) 食事に関するもの18例、睡眠に関するもの4例は、これまでの生活環境および養育上の相異によるものと考えられる。

3) その他新しく *sucking* や *head banging* の出現、新しい環境への不安感や緊張、施設入院時の初期反応と類似の症状を訴えているが、これ等の症状の大部分は3ヶ月以内に消失している。しかし全例の約10%は退院3ヶ月後にも何等かの問題を残している。

E) 退院3ヶ月後の問題について

1) 精神発達遅滞、言語上の問題、社会性、生活習慣に関する訴えが多い。退院後3ヶ月においても、今なお継続および新しく問題となっているものもあり、退院後の指導を積極的に行なわなくてはならない。

(表5) 母親が訴えた帰宅後の問題

項目	件数	退院時年月令					合計	来院時の問題として 移行又は継続したもの	
		6M以下	6-12M	12-18M	18-24M	24M以上		項目	件数及び 割合
母親から離れない	1	2	9	1	4	17	依存	2 $\frac{2.3}{100}$	
こわがる物		2	5	3	5	15			
人		6	9	1	5	21	人みしり	3 $\frac{0.10}{100}$	
場所		3	6	1	6	16	トイレ	1 1.2	
動物				1	1	2	動物がこわい	1 1.1	
音		1				1			
新しいものの出現				1	1	2			
食事 不振		2	2		2	6			
偏食			2	1	1	4	偏食	2 $\frac{1.1}{100}$	
固形物の嚥下					1	1			
吐き出し(嘔吐)	1	1				2	偏食	1 0.6	
拒食	1		1			2			
空腹感強い		1				1			
固形物の嚥下	1		1			2	固形物拒否	1 0.4	
睡眠 布団の中					3	3			
抱っこが嫌			1			1	抱っこ嫌い	1 1.3	
Sucking (母乳)	(5)	(12)	(9)	(2)	(3)	(31)	指しゃぶる	1 0.10	
Head Banging		1	1			2			
抱っこ		1	1	1	1	4			
かみつき				(1)		(1)	かみつき	1 1.8	
タオルを欲がる					1	1	依存	1 2.7	
泣きどうし(泣き)	1	6	5		3	15	すぐ泣く	1 2.6	
退院後行動	(1)	2	2	(1)	(2)	6	自発的行動	1 2.10	
緊張大		3	2	1	1	7			
不安感大		3		1		4			
なじみがあつた					4	4		* 年令関係	
異常な甘え					1	1		時年令以上	
やまぢやき			2			2			
様子が悪い		1				1			
机の下隠れ込む				1		1			

(注) () は入院時より継続しているものの数。

(表6) 家庭退院児3ヶ月後の母親の訴え

項目	退院時年齢 件数	6M 以下	6- 12M	12- 18M	18- 24M	24M 以上	計
発達遅滞	1	3	1	1			6
言語のおくれ				3	1	4	8
運動のおくれ	1	1					2
食事 不振		3				2	5
偏食	1		4	2	3		10
むらがある		1					1
態度		3					3
固形物の嚥下	1	1					2
離乳食拒否	1						1
睡眠 寝るが起き		1	1	1	1		4
抱っこ、おむつ離れ	1	1	1				3
そい歸		1					1
Sucking 母乳以外の	7	15	12	2	3		39
夜泣	2	5	1	2			10
かみつき				1			1
左利		3	1	1	2		7
こわがる 人みしり		2	2		1		5
特定の場所			1		1		2
動物				1			1
新しいもの		1					1
音に敏感	1	2					3
依存		2		1	5		8
子供と遊ばない				1	1		2
泣く(暴走や泣き)		1	1		1		3
好むと長い			1				1
気に入らぬと泣く怒る		2					2
反抗的					1		1
自発的行動					1		1
習慣、寝の問題	2	2	1	1	1		7
母が子供から離れない			1				1